

金ケ崎町上下水道事業告示第6号

公営企業の業務の状況の公表について

「財政事情」の作成及び公表等に関する条例第4条の規定により、金ケ崎町水道事業にかかる業務の状況について、別紙のとおり公表する。

令和7年5月30日

金ケ崎町長 高橋寛寿

- 1 公表する事項 令和6年度下期水道事業業務状況
- 2 閲覧場所 金ケ崎町上下水道課

令和6年度下半期水道事業経営状況

I. 使用水量について

1. 下期全体水量は 1,181,110 m³で、前年度同期（1,201,286 m³）に比べ 1.7%減少しています。上半期は前年度を上回っていましたが、下半期は全体的に前年度を下回る使用状況でした。全期の水量は 2,380,963 m³となり前年度 2,382,311 m³に比べ 0.1%減少しています。
2. 家庭用水量については 528,189 m³で、前年度同期（533,457 m³）に比べ 1.0%減少しています。全期では 1,077,300 m³であり前年度 1,085,853 m³に比べ 0.8%減少しています。加入件数は、3 月末現在では 6,184 件（前年度 5,447 件）になっており 206 件増加しています。
3. 営業用水量については 106,959 m³で、前年度同期（105,972 m³）に比べ 0.9%増加しています。全期では 229,725 m³であり、前年度 217,101 m³に比べ 5.8%増加しています。
4. デンソーについては 332,089 m³で、前年度同期（346,642 m³）に比べ 4.2%減少しています。全期では 636,329 m³となり、前年度 645,166 m³に比べ 1.4%減少しています。
5. 工業用（デンソー除き）については 142,326 m³で、前年度同期（132,202 m³）に比べ 7.7%増加しています。全期では 280,610 m³であり、前年度 260,619 m³に比べ 7.7%増加しています。

区 分		家庭用	営業用	団体用	工業用 デンソー	工業用 (デンソー除き)	公衆用	計
有収水量 (m ³)	下期	528,189	106,959	71,113	332,089	142,326	434	1,181,110
	全体	1,077,300	229,725	153,525	636,329	280,610	3,474	2,380,963
前年有収水量 (m ³)	下期	533,457	105,972	82,356	346,642	132,202	657	1,201,286
	全体	1,085,883	217,101	169,450	645,166	260,619	4,092	2,382,311
増 減 (m ³)	下期	△ 5,268	987	△ 11,243	△ 14,553	10,124	223	△ 20,173
	全体	△ 8,583	12,624	△ 15,925	△ 8,837	19,991	△ 618	△ 1,348
前年比 (%)	下期	99.0	100.9	86.3	95.8	107.7	66.1	98.3
	全体	99.2	105.8	90.6	98.6	107.7	84.9	99.9

Ⅱ．財政状態について

1．収益的収入及び支出（税抜き）

（1）営業収益

下期営業収益は 177,183 千円であり、前年度同期（176,479 千円）と比べて 0.4% 増加しています。給水収益は 158,548 千円であり、前年度同期（160,355 千円）と比べて 1.2% 減少しています。全期では営業収益が 338,189 千円であり前年度 335,923 千円と比べて 0.7% 増加となっています。

（2）営業費用

下期営業費用全体では 205,849 千円であり、前年度同期（201,927 千円）と比べて 1.9% 増加しています。全期では 357,119 千円であり、前年度 350,145 千円に比べて 2.0% 増加しています。主な増加要因としては、原水・浄水費の人件費、委託料、修繕費、薬品費や、配水・給水費の修繕費、動力費及び総務費の人件費委託料などです。

（3）営業外収益

下期営業外収益は 15,827 千円であり、前年度同期（14,909 千円）と比べて 6.2% 増加しています。全期では 50,225 千円であり、前年度 50,803 千円に比べ 1.1% 減少しています。主な減少要因としては、水道利用加入金の減少です。

（4）営業外費用

下期営業外費用は 2,498 千円であり、前年度同期（2,464 千円）と比べて 1.0% 増加しています。これは特定収入分支払消費税の増によるものです。

（5）経常利益

下期の経常利益が△15,337 千円となり、前年度同期の経常利益は△13,003 千円となっています。これにより令和 6 年度決算では 28,742 千円の純利益を見込んでいます。これは前年度（33,835 千円）よりも 15.1% 減少しています。

2．資本的収入及び支出（税込み）

主な建設改良費の支出状況は次のとおりです。（500 万円以上）

和光地区配水管布設替工事	58,382,500 円
高谷野原浄水場非常用発電機更新工事	37,950,000 円
永沢長坂前地区配水管布設替工事	28,787,000 円
高谷野原浄水場高圧キュービクル更新工事	11,660,000 円
西根荒巻地区配水管布設替工事	36,769,700 円

令和6年度 損益計算書

収益的収入及び支出

(消費税抜き) (単位:千円)

科 目	令和6年度上半期		令和6年度下半期		令和6年度全期		令和5年度全期		前年比
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
営業収益	161,006	100.0	177,183	100.0	338,189	100.0	335,923	100.0	100.7
給水収益	160,517	99.7	158,548	89.5	319,065	94.3	317,403	94.5	100.5
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
その他の営業収益	489	0.3	18,635	10.5	19,124	5.7	18,520	5.5	103.3
営業費用	151,270	100.0	205,849	100.0	357,119	100.0	350,145	100.0	102.0
原水及び浄水費	47,055	31.1	69,571	33.8	116,626	32.7	112,500	32.1	103.7
配水及び給水費	14,556	9.6	21,122	10.3	35,678	10.0	35,017	10.0	101.9
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
総係費	23,685	15.7	47,236	22.9	70,921	19.9	64,457	18.4	110.0
減価償却費	65,974	43.6	65,938	32.0	131,912	36.9	134,953	38.5	97.7
資産減耗費	0	0.0	1,982	1.0	1,982	0.6	3,218	0.9	61.6
その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
営業利益	9,736	-	△ 28,666	-	△ 18,930	-	△ 14,222	-	1.3
営業外収益	34,398	100.0	15,827	100.0	50,225	100.0	50,803	100.0	98.9
受取利息及び配当金	58	0.2	378	2.4	436	0.9	7	0.0	6228.6
加入者負担金	1,757	5.1	6,431	40.6	8,188	16.3	10,310	20.3	79.4
他会計補助金	22,313	64.9	848	5.4	23,161	46.2	22,313	44.0	103.8
長期前受金戻入	7,202	20.9	7,332	46.3	14,534	28.9	14,431	28.4	100.7
引当金戻入益	2,938	8.5	298	1.9	3,236	6.4	3,070	6.0	105.4
雑収益	130	0.4	540	3.4	670	1.3	672	1.3	99.7
営業外費用	0	0.0	2,498	100.0	2,498	100.0	2,464	100.0	101.4
支払利息及び企業債取扱諸費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
雑支出	0	0.0	2,498	100.0	2,498	100.0	2,464	100.0	101.4
経常利益(△損失)	44,134	-	△ 15,337	-	28,797	-	34,117	-	84.4
特別利益	0		0		0		0		0.0
固定資産売却益	0		0		0		0		-
過年度損益修正益	0		0		0		0		0.0
その他特別利益	0		0		0		0		-
特別損失	43		12		55		282		19.5
手当	0		0		0		0		-
固定資産売却損	0		0		0		0		-
過年度損益修正損	43		12		55		282		19.5
その他特別損失	0		0		0		0		-
当年度純利益(△純損失)	44,091	-	△ 15,349	-	28,742	-	33,835	-	84.9
前年度繰越利益剰余金	0		0		0		0		-
その他未処分利益剰余金変動額	0		0		0		0		0.0
当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)	44,091	-	△ 15,349	-	28,742	-	33,835	-	84.9

比較貸借対照表

(単位:千円)

科 目	令和4年度		令和5年度			令和6年度		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
固定資産	2,680,431	79.1	2,659,988	76.9	99.2	2,704,074	78.1	101.7
有形固定資産	2,674,637	78.9	2,656,014	76.8	99.3	2,701,921	78.1	101.7
土地	44,028	1.3	44,028	1.3	100.0	52,204	1.5	118.6
建物	121,538	3.6	109,080	3.2	89.7	96,801	2.8	88.7
構築物	2,438,074	71.9	2,409,079	69.7	98.8	2,426,843	70.1	100.7
機械及装置	62,812	1.9	87,900	2.5	139.9	121,994	3.5	138.8
車両運搬具	2,677	0.1	1,955	0.1	73.0	1,501	0.0	76.8
工具器具及備品	5,193	0.2	3,693	0.1	71.1	2,334	0.1	63.2
その他有形固定資産	315	0.0	279	0.0	88.6	244	0.0	87.5
建設仮勘定	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
無形固定資産	5,794	0.2	3,974	0.1	68.6	2,153	0.1	54.2
電話加入権	333	0.0	333	0.0	100.0	333	0.0	100.0
ソフトウェア	5,461	0.2	3,641	0.1	66.7	1,820	0.1	50.0
流動資産	710,359	20.9	798,531	23.1	112.4	757,416	21.9	94.9
現金預金	684,733	20.2	768,733	22.2	112.3	723,272	20.9	94.1
未収金	21,714	0.6	25,477	0.7	117.3	29,906	0.9	117.4
未収金貸倒引当金	△ 300	0.0	△ 300	0.0	100.0	△ 300	0.0	100.0
貯蔵品	2,712	0.1	2,921	0.1	107.7	2,838	0.1	97.2
前払金	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
その他流動資産	1,500	0.0	1,700	0.0	113.3	1,700	0.0	100.0
資産合計	3,390,790	100.0	3,458,519	100.0	102.0	3,461,490	100.0	100.1
固定負債	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
企業債	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
流動負債	37,983	1.1	82,418	2.4	217.0	53,371	1.6	64.8
企業債	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
未払金	19,932	0.6	52,937	1.5	265.6	34,577	1.0	65.3
引当金	14,900	0.4	15,051	0.4	101.0	15,048	0.4	100.0
賞与引当金	2,787	0.1	2,938	0.1	105.4	2,935	0.1	99.9
修繕引当金	12,113	0.4	12,113	0.4	100.0	12,113	0.4	100.0
預り金	1,651	0.0	12,730	0.4	771.0	2,046	0.1	16.1
その他流動負債	1,500	0.0	1,700	0.0	113.3	1,700	0.0	100.0
預り有価証券	1,500	0.0	1,700	0.0	113.3	1,700	0.0	100.0
繰延収益	345,856	10.2	335,828	9.6	97.1	326,927	9.4	97.3
長期前受金	1,139,215	33.7	1,129,135	32.6	99.1	1,134,769	32.8	100.5
長期前受金収益化累計額	△ 793,359	△ 23.4	△ 793,307	△ 22.9	100.0	△ 807,842	△ 23.5	101.8
資本金	2,581,524	76.3	2,584,337	74.7	100.1	2,584,337	74.7	100.0
自己資本金	2,581,524	76.3	2,584,337	74.7	100.1	2,584,337	74.7	100.0
剰余金	418,809	12.4	455,936	13.2	108.9	492,855	14.3	108.1
資本剰余金	795	0.0	795	0.0	100.0	8,972	0.3	1128.6
受贈財産評価額	795	0.0	795	0.0	100.0	8,972	0.3	1128.6
利益剰余金	418,014	12.4	455,141	13.2	108.9	483,883	14.1	106.3
減債積立金	0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
建設改良積立金	384,179	11.4	421,306	12.2	109.7	455,141	13.2	108.0
当年度未処分利益剰余金	33,835	1.0	33,835	1.0	100.0	28,742	0.8	84.9
(うち当年度純利益)	37,127	1.1	33,835	1.0	91.1	28,742	0.8	84.9
負債資本合計	3,384,172	100.0	3,458,519	99.9	102.2	3,457,490	100.0	100.0

令和 7 年度金ヶ崎町水道事業会計予算編成方針

1. 基本方針

令和 7 年度の使用水量は、令和 6 年度から引き続き安定的な使用を見込んでいます。しかし、景気の動向に使用水量が大きく左右される工業用の比率が高く、また老朽化が進んでいる浄水施設や配水管などの維持管理費や更新事業費が増大していくと見込まれることから、水道事業の経営は不安定な要素を抱えています。

令和 7 年度は、引き続き水道事業の健全運営に努めていくとともに、健全で持続可能な水道事業を目指し、令和 4 年度に策定した「金ヶ崎町水道事業基本構想（地域水道ビジョン）」の施策を着実に進めて参ります。

2. 重点事項

- (1) 安全でおいしい水の安定的な供給のために施設等の適正な管理を進め、施設・設備の計画的修繕や更新を進めます。
- (2) 料金徴収業務の民間委託等により引き続き経費節減や収納率向上などに取り組み、水道事業の健全運営に努めます。
- (3) 浄水施設や配水管の更新及び配水池等の整備計画及び収支計画等により、将来にわたって収益と費用の均衡がとれる経営改善方策を住民に示していきます。

3. 具体的な取り組みと目標

- (1) 引き続き千貫石水源と高谷野原水源を中心とした給水体系を維持するとともに、安全な水の安定的な供給を維持します。あわせて、施設や配水管などの維持管理・保守点検を進める中、老朽施設の設備や配水管の更新等及び道路改良に伴う整備に向けた事業を進めます。
- (2) 安全でおいしい水の安定的な供給を図るため、「金ヶ崎町水安全計画」に基づき水質検査を実施し、その情報を公開します。
- (3) 収納率向上のため引き続き、滞納者の給水停止を含めた納付相談・徴収業務を実施します。
- (4) 安定的な収益増と安全な水の供給のため、加入者の拡大に取り組みます。具体的には、6 月の「水道週間」を中心に安全な水の PR を行うとともに、金ヶ崎町の定住促進に関わる情報収集・発信に努めます。
- (5) 今後 10 年間の施設更新、資金計画及び奥州金ヶ崎行政事務組合の用水供給からの受水に係る整備計画を含めた「金ヶ崎町水道事業基本計画」により、今後の水道事業の状況について、広報等において町民にお知らせしていきます。

令和7年度水道事業会計予算概要説明

1. 収 益

令和7年度は、総給水量及び有収水量は若干の増加と見込まれ、用途ごとでは団体の使用量が増加、家庭用、営業用、工業用等は前年度と同程度の見込であり、全体での料金収入は、前年度比 100.8%、2,817 千円の増額を見込んでいます。**営業収益**全体では 100.4%、1,496 千円の増額となっております。

営業外収益では、加入者負担金は前年度比 158.0%、3,246 千円の増加、一般会計補助金は前年度比 105.8%、1,296 千円の増加、長期前受金戻入は前年度比 100.7%、101 千円の増加を見込んでいます。営業外収益全体では、109.8%、4,479 千円の増額見込みとなっております。

そのため**水道事業収益**は 416,122 千円を見込み、前年度比 5,975 千円の増額となる予算措置をしています。

2. 費 用

営業費用は、前年度比 98.4%、6,301 千円の減額となっております。このうち**原水及び浄水費**は、前年度比 102.8%、4,009 千円の増額となっております。これは委託料及び薬品費等の増額によるものです。

配水及び給水費は前年度比 117.1%、6,001 千円の増額となっております。これは委託料及び路面復旧費等の増額によるものです。

総係費は、前年度比 82.6%、13,533 千円の減額となっております。これは委託料の減額が主な要因です。

減価償却費は前年度比 97.9%、2,778 千円の減になります。

資産減耗費は前年度と同額を見込んでいます。

営業外費用は前年度比 138.0%、1,074 千円の増額となっております。これは消費税及び地方消費税の増額が主な要因です。

特別損失では、前年度と同額を見込んでいます。

これらにより、**水道事業費用**では前年度比 98.7%、5,227 千円の減額になっており、収益的収入及び支出では 14,252 千円の黒字を予定しています。

資本的収入では、前年度比 120.0%、988 千円の増になります。

資本的支出では、**建設改良費**は原水浄水費が 7,807 千円の減額、送水配水施設費が前年度比 94.1%、8,337 千円の減額、**営業設備費**が前年度比 1,166.0%、4,168 千円の増額となっております。建設改良費全体では、93.7%、11,976 千円の減額となっていま

す。

企業債償還金は令和4年度に償還が完了しており令和7年度は予算計上ありません。

資本的収入の不足額 172,207 千円は、

当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 12,659 千円

過年度分損益勘定留保資金 159,548 千円で補てんいたします。